

暁斎×暁翠 父娘で挑んだ画の真髄 河鍋暁斎・暁翠伝

会 期 2020年1月25日(土)～2020年3月22日(日)

幕末から明治維新、そして文明開化期という荒波のなか、生来のバイタリティと圧倒的な描写力で縦横無尽に作品を生み出し、国際的にも評価の高い絵師・河鍋暁斎（1831～1889）。その暁斎を父とし、幼少から絵の手ほどきを受け、女子美術学校（現、女子美術大学）の教師を務めるなど女性日本画家の先駆者であった娘・河鍋暁翠（1868～1935）。本展覧会では父と娘の画業を紹介し、自由闊達な作品世界の魅力を楽しんでいただきます。

会 場 高崎市タワー美術館（〒370-0841 高崎市栄町 3-23 電話 027-330-3773）

開館時間 午前10時～午後6時（入館は午後5時30分まで）

金曜日のみ 午前10時～午後8時（入館は午後7時30分まで）

休館日 毎週月曜日（祝日の場合は開館し、翌日休館）

会期中の休館日：1/27、2/3・10・12・17・25、3/2・9・16

観覧料 一般：500円（400円）、大学・高校生：300円（250円）

- （ ）内は20名以上の団体割引料金
- 身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳の交付を受けた方、および付き添いの方1名、65歳以上の方、中学生以下は無料となります

主 催 高崎市タワー美術館

特別協力 公益財団法人河鍋暁斎記念美術館

後 援 高崎市教育委員会、朝日新聞社前橋総局、産経新聞前橋支局、上毛新聞社、東京新聞前橋支局、毎日新聞前橋支局、読売新聞前橋支局、群馬テレビ、J:COM群馬、FM GUNMA

関連事業

- 記念講演会「暁斎と暁翠 河鍋家のことなど」
講師／河鍋楠美（公益財団法人河鍋暁斎記念美術館 理事長・館長、河鍋暁斎曾孫、医学博士）
2/24 14:00～
- 学芸員による作品解説会 1/25、2/9、2/22、3/8、3/21 14:00～